

# タマサート大学/ タイ王国

Thammasat University/ Kingdom of Thailand

## 大学紹介

民主主義体制に移行した2年後の1934年に当時の首相によって設立された国立大学。タイ国内では2番目に古い大学であり、トップ5の順位に位置する。昔から「民衆のための大学」として知られている。全ての授業の32%が英語で開講されている。

## 学事日程

春学期: 1月~5月/ 秋学期: 8月~12月

WEBサイト

Thammasat University



## 学べる学問

法学、経営学、政治科学、経済学、社会経営学、ジャーナリズム・マスコミュニケーション、国際学、リベラルアーツ、テクノロジー科学、工学、国際テクノロジー、建築学、グローバル・スタディーズ、イノベーション

## 留学条件

\* 学科によって異なる

GPA 3.0以上

IELTS 5.5以上

## 留学体験

タマサート大学は幾つかのキャンパスがあります。私はランシットキャンパスのリベラルアーツ学部Business English Communicationというコースで学びました。ランシットキャンパスは非常に広いので、離れた施設に行きたいときは、キャンパス内をいくつかのコースで走っているバスで移動します。留学先の授業では英語によるプレゼンテーションの機会も多かったのですが、私の場合はお茶大ではACTを継続して履修し英語でのプレゼンにあまり抵抗がなかったというのがよかったなと思っています。おそらく、タイに留学するのを迷っている方が心配に思うのが言語についてだと思うのですが、大学の周りやバンコクでは若い人に英語が通じます。そのほかだと正直、英語はあまり通じません。ただ、タイの人は親切な方が多く、タイ語がわからず困っていると何度も助けられたり、拙いタイ語やジェスチャーを使うと嫌な顔せず理解しようとしてくれる方が多く、伝えようとする気持ちがあれば生活するに困ることはそこまでないと感じました。むしろコミュニケーションの良い経験になったと感じています。

(2019年度交換留学派遣 生活科学部 人間生活学科 2年)